

20年後社会保障費は1.5倍に膨れ上がる

高齢化の進展とともに増え続ける社会保障給付費。2016年は2000年の1.5倍(116.9兆円)に増加しました。

内訳は医療が38兆円、年金が54兆円、介護などの福祉が24兆円。概ね半分が社会保険料、35%が税金で賄われています。

この先はどうなるのか。

- ・ 5年後(2025年)には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になる。
- ・ 10年後(いわゆる2030年問題)には、65歳以上が全人口の3分の1。
- ・ 20年後(2040年問題)には、現役世代が1.5人で1人の高齢者を支える。

2040年には社会保障給付費が1.5倍となり、このままでは国家予算の半分以上が投入されることになります。

給付水準と負担について 国民的議論が必要だ!

今後、給付の引き下げと税や社会保険料などの負担増が不可避とされています。

しかし、消費税増税分が社会保障財源に充てられたのは民主党政権下の「税と社会保障の一体改革」(5%→10%)だけ。

「消費税創設時」(0%→3%)、「3%から5%への消費税引上げ時」も自民党政権は消費増税分を社会保障財源には充てませんでした。

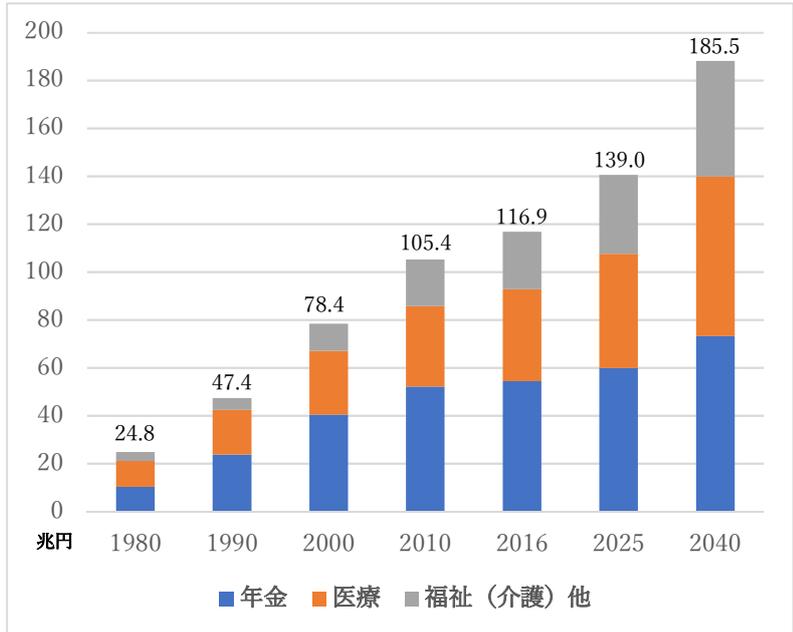


老後の安心得られる制度を!

高齢化が進む中においてある程度の負担を求めつつ、社会保障の給付水準を維持すべきと考えます。

- ・ 低所得者の社会保障料の負担軽減
- ・ 社会保障サービスの自己負担の上限を設定(総合合算制度を創設)
- ・ 年金のマクロ経済スライドの見直し
- ・ 10~20年後、AI化により49%の仕事が失われるという予測の中でベーシックインカム導入の検討を始める

社会保障費の推移と予測



社会保障に関する国民の意識

給付水準の維持と負担増	24.5%
給付水準のある程度の引下げと負担増	18.0%
給付水準の引上げと負担増	11.6%
給付水準の引下げと従来通りの負担	7.7%
給付水準の大幅引下げと負担減	9.3%
その他・わからない	18.7%

梶原やすひろのホームページを
ぜひお訪ね下さい。

- 内容
- ・ わが町、わが村、美しいふるさと
 - ・ 梶原やすひろの考え
 - ・ おばあちゃんのための政治講座
 - ・ Uチューブ
 - ・ まんが国会
 - ・ その他



篠山事務所 丹波篠山市西岡屋甲 570-2
TEL079-552-7107 FAX079-554-1700

三田連絡所 三田市相生町 21-12
TEL/FAX079-509-0033